



ホタル

平成29年12月8日発行
八戸市立白銀南小学校
TEL 33-1126

校史の節目に巡り合えたことに感謝

校長 高谷 信行

11月25日、来賓・地域・保護者の皆様、全校児童と教職員合わせておよそ650人が参加し、創立30周年記念式典が本校体育館で盛大に行われました。式典では、八戸市長 小林眞 様、八戸市議会議員 立花敬之 様から祝辞をいただきました。全校児童による「よろこびの詩」では、これまで白銀南小学校の歴史と伝統を築き上げてきた卒業生や多くの方々に感謝するとともに、これからも地域の皆様に見守られながら、力強く歩み続けることを約束しました。

また、校長式辞では子どもたちに次のようなこととお話しました。

校歌にも「光る海、広き空」と歌われるように、この学校は太平洋を見渡すことができる白銀の南の丘に立って、今年で三十目を迎えました。これまで本校を巣立った三千二百余名の卒業生が、登下校時に必ず目にしていたものが校舎の正面に掲げられているレリーフです。このレリーフは、「友情」と「健康」を表しており、「海のようにやさしく広い心を持ち、太陽のように明るく健康な子どもに育てほしい」という願いが込められています。輝かしい未来へ羽ばたいていった多くの卒業生は、このレリーフから、夢と希望の芽を受け取っていたことと思います。

また、図書室前の廊下には、これまでの卒業生の写真がずらりと掲げられています。その中には、皆さんの父や母が写っているかもしれません。30年前には、皆さんのように、この学校で学び、元気に運動していたことでしょう。そして、今から30年後には、今度は皆さんの子どもたちが、この学校で学ぶことになるのです。今まで受け継がれてきたもの、それを大切に未来に引き継いでいくこと、それが今を生きる私たちがやらなければならないことです。これまでの先輩方が築いてくださった白銀南小学校やふるさとの素晴らしい歴史と伝統を受け継ぐことに、感謝の気持ちと誇りを持ち、さらによりよい学校、よりよい地域にしていってください。

前年度から30周年記念式典実行委員会が組織され、教職員と保護者の方々とで会議を重ね、記念式典と祝賀会の準備・開催、および記念事業を進めてきました。祝賀会は、歴代の校長先生方をはじめ旧職員や地域の方々など、120名ほどのご参加をいただきにぎやかに開催されました。10年に一度の校史の節目に巡り合えたことを誇りに思い、地域や保護者の皆様、児童・教職員とともにこの喜びを分かち合えたことに感謝したいと思います。